湖南市防災士連絡会　防災士インタビュー　Vol.4

Q.自己紹介をお願いします。

大谷区の防災士の織田諒平です。今年度から区の幹事として防災士連絡会の運営に参加させて頂いております。連絡会では情報提供委員会の委員長として、防災に役立つ情報を皆様に届けられるよう活動しております。

Q.どうして防災士になろうと思われましたか？

防災士になったのは区長からの依頼があったからです。それまで特に防災に関して考えることもありませんでしたが、いざという時に行動できるだけの知識を持っていた方が良いと思い、防災士養成研修に参加しました。

Q.防災士として得た知識・技能を今後、どのようにして活用していきたいですか？

地区防災計画を現状よりも良いものにしていけたらと思っております。最近は長時間にわたって大雨の降る線状降水帯やゲリラ豪雨など、これまでにないような水害も起こるようになってきました。過去に起きた災害を想定した対策だけでなく、今後新たに起こる可能性が出てきた災害に対しても対応できるようアップデートしていけたらと思います。

Q.ご自身で被災された経験がございましたら、お聞かせください。

私自身、大きな災害に被災したことはありません。風水害も地震も命にかかわるような状況になったことはありません。経験した中で一番大きな地震でも震度４か５くらいだったと思います。家のタンスが倒れるくらいの揺れでしたが、発生時には外にいたためあまり揺れを感じませんでした。

大きな災害は写真や映像で見たことがあるだけで、それが自分に降りかかるかもしれないという危機感はまだ持てていません。それでも、いざ災害が起こった時に対応できるだけの準備はしていけたらと思っております。

Q.現在、実際に取り組まれていることがありましたらご紹介ください。

防災士としての活動は今のところほとんどできていない状況です。今年度役を頂いたことをきっかけに区の防災訓練なんかには参加するようにしています。

Q.防災士を目指す方への一言、地域住民の方へのお願いなどはありますか。

自分自身もそうなのですが、普通に生活している中で防災について考える機会というのはほとんど無いのではないかと思います。年に1回や2回でも定期的に備蓄の見直しや避難場所の確認などを各家庭でするだけでも、実際に災害が起きたときに大きな効果があるはずです。地域全体で防災力の強化をしていきましょう。

Q.今後の課題、抱負をお聞かせください。

防災士の研修を受けてから数年間、特に活動することも無かったため、まずは改めて防災について学びなおしたいと思います。大谷区は地区防災計画の作成が出来ていないので、幹事の任期中には作成できるよう話を進めていこうと思います。